2025年1月1日現在

東京大学運営方針委員の略歴及び選考理由

氏名：村本 由紀子（むらもと ゆきこ）

現職：東京大学大学院人文社会系研究科教授

略歴：1988年3月 東京大学文学部 卒業
1988年4月 株式会社日本長期信用銀行 入行（～1992年3月）
1994年3月 東京大学大学院社会学研究科修士課程 修了
1996年4月 日本学術振興会特別研究員（～1998年3月）
1997年3月 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程 単位取得退学
1997年9月 スタンフォード大学 Postdoctoral Scholar
1998年4月 京都大学総合人間学部 助手
1999年3月 博士（社会心理学）（東京大学）
2000年4月 岡山大学文学部 助教授
2004年4月 横浜国立大学経営学部 助教授
2011年4月 横浜国立大学大学院国際社会科学研究所 教授
2011年10月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授
2018年4月 同 教授（～現在）
2018年4月 東京大学 総長補佐（～2019年3月）
2022年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 副研究科長（～2024年3月）
東京大学 教育研究評議会評議員（～2024年3月）

運営方針委員の在任年数：0年

【個別の選考理由】

村本氏は人文社会系研究科の教員として教育研究の現場で活動し、2018年度には総長補佐を務めたほか、2022年から2年間にわたり副研究科長として研究科の運営に携わり、同時に教育研究評議会評議員も務めた。また、2021年度には、藤井総長の下に置かれたビジョン検討タスクフォースの幹事の一人として、UTokyo Compassの策定に貢献した。

以上のとおり、村本氏は本学の教育研究及び運営に関し十分な知識・経験を有しており、東京大学憲章をはじめとする本学の理念・目標に対する十分な理解の下、世界の公共性に奉仕する東京大学の使命を踏まえ、東京大学と社会のステークホルダーの双方向的な連携を推進し、建設的な対話を通じ、互いに共通する公共的な利益を追求できるよう尽力する意思を有することが認められること、さらには教育研究の現場の意見を代表し本学の運営方針に反映させる者として適切であると教育研究評議会において認められたことから、運営方針委員に相応しいと判断した。

以上